

令和５年度第１回 倉敷市地域公共交通会議 議事概要

１ 開催概要

開催日時	令和５年６月１日（木） １０時～１１時３０分
開催場所	倉敷市立美術館３階 第２会議室
出席者	委員（代理出席含む）２２名 橋本成仁委員、氏原岳人委員、西崎大修委員、山本明子委員、野田俊明委員、家守豊委員、横田直樹委員、石野正人委員、岡田和史委員、平本清志委員、（代）鎌田光一郎委員、（代）米津総一郎委員、宇田雅英委員、池内丈史委員、（代）山口千恵子委員、小松賢治委員、槇尾俊之委員、吉田奈美委員、原弘好委員、（代）高井理恵委員、堀口和希委員、赤松健司委員、（代）永山正雄委員、亀山貴之委員 その他 オブザーバー（代理出席含む）４名、事務局５名、関係者１名、随行者１名
議事次第	１ 開会 ２ 委員紹介 ３ 会長挨拶 ４ 議事 （１）協議事項 ア 令和４年度決算について イ 瀬戸大橋線におけるゾーン運賃（協議運賃）の導入について ウ 地域旅客運送サービス継続事業実施計画について （２）報告事項 ア 倉敷市地域公共交通網形成計画に基づく施策の進捗状況について イ 倉敷市地域公共交通計画に基づく施策の進捗について （３）その他 ５ 閉会
配布資料	次第、委員名簿、配席図 資料１ 令和４年度 倉敷市地域公共交通会議決算 資料２ 瀬戸大橋線におけるゾーン運賃（協議運賃）の導入について 資料３－１ 倉敷市地域旅客運送サービス継続事業実施計画（案） 資料３－２ 倉敷市地域旅客運送サービス継続事業実施方針 資料４ 倉敷市地域公共交通網形成計画 施策の進捗状況（令和４年度実績） 資料５ 倉敷市地域公共交通計画 施策の進捗状況（令和５年度予定）

２ 議事概要

協議事項	ア 令和４年度決算について
	【事務局から説明】（資料１）
	【監査委員による監査報告】 令和５年５月２５日に出納監査を実施。事務局報告と相違なし。

協議事項	【質疑応答・意見】 （議長）事務費のうち通信費が少額だが、相異なるか。 （事務局）返信用切手２枚分の経費を計上したものであり、相異なる。
	【議決】 賛成多数により原案承認
協議事項	イ 瀬戸大橋線におけるゾーン運賃（協議運賃）の導入について
	【琴参バス(株)池内委員から説明】（資料２）
	【質疑応答・意見】 （委員）資料２の「地域内の取り組みの障害になっている」とは、具体的にどういうことか？ （琴参）坂出市では、路線バスと循環バスとデマンドタクシーが、同じエリアで運賃が異なっている現状がある。ＩＣカードの普及ができていない。 （委員）瀬戸大橋線の児島の停留所はどのあたりにあるか？ （琴参）ＪＲ児島駅や児島ＩＣなど、数か所ある。下電バスと競合するバス停もあるので、下電バスと調整させてもらいたいと思っている。 （委員）資料２に「MaaS連携」という記載があるが、MaaSとはなにか？ （議長）「Mobility as a Service」の略称。平たく言えば、目的地まで電車やバスなど複数の交通手段を使う場合、スマホなどで交通手段や料金を調べて、予約や決済も一括で行えるようなイメージのもの。 （議長）同じゾーン間を移動した場合の運賃はどうなるのか？ （琴参）ゾーン間の路線が無く一旦中心部まで行ってから、中心部での乗り換えとなるため、それぞれの運賃が必要となる。 （委員）エリアを移動するたびに１００円ずつアップすると、結構な金額になる。 （琴参）利用者にとって、分かりやすい運賃体系にはなる。 （委員）ゾーン運賃の導入について、倉敷市はどう思っているのか？ （事務局）同一区間で琴参バスと下電バスの運賃が異なることで利用者が混乱しないよう、例えば停留所に料金表を掲示するなど、対策を検討していただきたい。
	【議決】 賛成多数により原案承認
協議事項	ウ 地域旅客運送サービス継続事業実施計画について
	【事務局から説明】（資料３－１、３－２） 資料３－１の事業実施に必要な資金の額と内訳の金額が空欄になっているが、これは現在調整中のため、後日書面審議をお願いしたい。 本日は金額以外の部分についてお諮りしたい。
	【質疑応答・意見】 （委員）評価指標の目標値について、令和４年度に１４．５％だったものを令和９年度に３０．０％にしているが、これを実現するには相当頑張らないといけないと思う。

協議事項	(事務局) 高い目標値だが、地域公共交通計画の目標指標と同じ水準となるよう設定している。
	【議決】 賛成多数により原案承認
報告事項	ア 倉敷市地域公共交通網形成計画に基づく施策の進捗状況について
	【事務局から説明】(資料4) 【質疑応答・意見】 (委員) 評価指標について、目標値に到達できなかった要因として確かにコロナの影響が大きかったと思うが、全てコロナを理由に数値を片付けるのではなく、コロナ禍でも、施策としてできたことと、できなかったことを検証する必要があると思う。 できなかったことの例として何があるのか？ (事務局) できなかったこととしては、PTPS（公共車両優先システム）の研究。 今後検討していきたいと考えている。 (委員) コミュニティタクシーの年間利用者数について、コロナの状況変化に伴って令和4年度は他の指標が上向いた中、ここだけ下がり続けている。これはコロナ以外に根本的な原因があるのかどうか、今後ぜひ分析してもらいたい。
報告事項	イ 倉敷市地域公共交通計画に基づく施策の進捗について
	【事務局から説明】(資料5) 【質疑応答・意見】 (委員) 実施主体に具体的な事業者名が記載されていないところや、どの事業者も検討となっているところについては、進捗管理が甘くなりがちなので、きちんと進捗状況を把握してほしい。 (委員) PTPSについて、前計画にも載せていたのに5年間実施されなかった。情報収集であれば短期間でできるのではないと思うが、市としてあまり前向きでないのか、それとも他に優先すべき事項があり着手できなかったのか？ (事務局) 他の事業を優先的に行って着手できなかった。市として必要なものだと思っているので、新計画においては、関係者へのヒアリング等を進めていきたい。 (委員) トラック関係でもそうだが、運輸業界では運転手不足が深刻。免許取得への補助などをお願いしたい。 (委員) バスの運転手も、令和元年から2割程度減少している。2024年問題は、トラックだけでなくバスも同じ状況なので、バスの人材確保についても考えてほしい。
その他	(委員：岡山運輸支局) タクシーの運賃改定を認可した。コロナや燃料費高騰で、タクシー事業者も苦しい状況。運賃が高くなるため、利用者には負担をかけることになるが、利益分をタクシー乗務員の待遇改善に繋げるよう併せてお願いしている。待遇改善により魅力的な職業とならなければ、なり手の確保が難しいので、ご理解をいただきたい。

その他	(委員：水島臨海鉄道) この度運賃改定の認可を受けた。今年は開業８０周年にあたる節目の年。利用促進に力を入れたい。 (事務局) 令和５年度６月補正予算分として、交通政策関連経費が盛り込まれることになった。 ６月議会の議決が条件となるが、タクシー利用者の負担軽減や利用促進を図るため、プレミアム付タクシー券の発行を予定している（４，０００円分のタクシー券を２，５００円で発売、発行冊数は２万冊を予定）。販売方法等、詳細は未定。
------------	---